



▶ 人の手によって守られてきた秋吉台の草原 ◀

秋吉台は、古くから住民が草を刈ったり、野菜を作ったりする場所でした。草刈りや火入れを行うことで、現在見られる草原が数百年にわたり保たれています。そして、草原が維持されることで、草原性の動植物の生息環境も守られてきました。また、大正から戦前にかけては軍事演習場として使われ、戦後には米軍の爆撃演習場計画も持ち上がりましたが、地元住民や研究者、行政が秋吉台の重要性を訴え、計画は撤回されました。

秋吉台では、石灰岩の大地の上で、地域の暮らしや時代ごとの社会状況と関わりながら、草原環境が守られてきました。秋吉台の草原は、地球の歴史と人の歴史が重なって生まれた風景です。この大切な場所を、これからも地域のみならず、次世代へと伝えていきます。

今年の秋吉台山焼きは、2月11日(水・祝)に開催予定です。

※雨天等諸事情による中止等の情報は、美祿市観光協会のホームページをご確認ください。▶



ベトナムの味覚探検

と き：3月15日(日)

ところ：秋芳地域まちづくりセンター

開催予告



連携協定を締結しているベトナムのドンヴァンカルスト台地ユネスコ世界ジオパークにちなんで、ベトナム料理であるフォーをみんなで作ります。次号GEO協議会だよりで詳細をお知らせします。

開催中

第3回ジオ旅クエスト

と き：2月28日(土)まで

ところ：全国(応募場所：カルスター)

110秋吉台ジオパークウィーク

第3回

ジオ旅クエスト

応募期間：2023/12/01~2023/02/28

無料アプリ「ジオパークな旅」を使ってジオパークの見どころを巡りポイントを貯めると、抽選で東京市の特産品などが当たります！
各地で自然や地質の壮大さを感じながら、いっぱい楽しいもの当てちゃおう！

参加品例

01 アプリ「ジオパークな旅」をダウンロード

02 全国各地にある見どころを5箇所以上回り、5ポイント以上取得する(抽選対象地域は別途告知)

03 カルスターでポイント以上まった画面を見せ、応募用紙に記入(応募期限は別途告知)

04 応募期限終了後、抽選を行い当選者に商品を送ります

Graphic Play App Store

QRコード

無料アプリ「ジオパークな旅」を使った周遊イベント。アプリを使ってジオパークの見どころを巡り、ポイントを集めると、Mine秋吉台ジオパークパートナーの景品が抽選で当たります。



Mine秋吉台ジオパークが ユネスコ世界ジオパーク UGGpになったら、どうなるの？

part 9

◆ 糸魚川ジオパーク編 ◆

今回は、2009年に日本で初めて世界ジオパーク(2015年にUGGp)として認定された新潟県糸魚川市の糸魚川ジオパークにお話を伺いました！糸魚川市は世界最古級のヒスイ文化発祥の地であるため、ジオパーク内には複数のヒスイ加工業者があり、あちらこちらで原石やアクセサリーが販売されています。世界ジオパークに申請をした当時は、「ジオパークは地質遺産の保護を推進するために活用されるべきである」というガイドラインの基準を知らず、審査時にはジオパークの拠点施設である博物館でヒスイや化石を売っていたそうです。ところが、審査時に審査員から指摘を受け、ジオパークのガイドラインを理解したことにより、ヒスイの販売方針をみんなで検討しました。そして、「両手に抱えるようなヒスイ標本の販売は中止し、小型の加工品に限って販売していく」や「外国産ヒスイの標本及び加工品の販売は中止する」などの対応方針を示し、世界ジオパークとして認定されました。認定当時の方針を守るため、定期的にヒスイ販売業者と話し合いを重ね、現在では、博物館やジオパーク関連施設では方針範囲内の物しか売らず、売り場には、伝統工芸品であることを示す表示物を付けています。こうしたことから、世界ジオパークになって一番良かったことは、ヒスイの保護について踏み込んだ議論を多くの関係者と一緒に行えるようになったことだそうです。Mine秋吉台ジオパークでも、石と共に生きてきた文化を持ち、岩石や鉱物、化石、石灰岩や大理石の採石の副産物を使った石の工芸品などが販売されていますが、持続可能な方法で取引・販売ができるよう、加工業者や販売事業者と協議を続けています。UGGpとして認定されることで、貴重な地球の遺産をどうやって未来につなげるか、世界中のジオパーク関係者と一緒に模索することができます。石の販売はMine秋吉台ジオパークにも深い関わりのあるテーマなので、来月号のGEO協議会だよりでもう少し掘り下げようと思います！

続く



糸魚川ジオパークの
ウェブサイト

